

子どもに一つでも
多くの感謝を



師走(しわす) 草生之

世田谷区立千歳台小学校 ホームページ
<https://school.setagaya.ed.jp/chii/>



学校だより 第8号
令和6年11月29日発行
船橋希望学舎
世田谷区立千歳台小学校
校長 寺村 尚彦

『個性輝け みんなが主役の物語』(学芸会スローガン)

副校長 池本 誠



積み重ねてきた一人ひとりの工夫

おへそを取りに行くときや様々な海の生き物たちの様子、協力することで大きな力となる様子を表現できるかなあ？(1, 2年)

仲間を助けるのにみんなで力を合わせた、協力してやり遂げたりする様子を伝えるにはどうしたらいいんだろう？(3, 4年)

魔王や王の怖さ、人間の弱さ、支え合うことによる強さや友情の重さについて、見る人の心を動かせるだろうか？(5, 6年)

1人ひとりが自分の「配役」「役割」の中で、自分なりの工夫を考えたり、グループごとに分かれて演技方を相談したりして、子どもたちが主体的に取り組んできました。



劇は、セリフを言う人だけでなくすべての人の動きで創られます。端にいても、舞台の奥にいても、一人ひとりの素振りが、舞台を創ります。一人ひとりみんなが、欠かせない主役なのです。こうして、その役はその子だからこそ演じられるものとなりました。

素敵な物語になりました

衣装や小道具を身に付けて、台詞や歌声がどんどん大きくなり、役になり切って表現することを全身で楽しんでいた
1, 2年生。



役にあった口調で話したり、友達とは違う動きをしたり、見ている人が楽しめるように相手意識ももって演技を磨いてきた3, 4年生。



“みんなで！” “小学生最後の！” など一人ひとりの思いがぐんぐん高まり、見ている人達に伝えたいこと、感じ取ってほしいことを演技に込めて創りあげてきた5, 6年生。本気で、楽しんで、全員で作り上げた演技のハーモニーは、世界に届くほど素敵なものとなりました。

本当にありがとうございました。

「学芸会」へのご協力、大勢のみなさまのご来校、温かい眼差し、大きな拍手をありがとうございました。子どもたちの力を引き出し、劇と一緒に創り上げていただきました。子どもたちの笑顔は輝き、演じきった満足感と達成感に包まれていました。

そして、当日のスムーズな進行の支えとなったのは、めばえの会とデ・バンドスの皆様のお手伝いでもあります。受付や誘導、案内等に大きなご協力をいただきました。本当にありがとうございました。



なわとび月間について

体育的行事委員会 宮川 瑞紀

11月25日（月）からなわとび月間が始まりました。自分で目標を決めてなわとびに取り組むことで、体力向上を図ることを目的としています。この期間は、中休みの時間は短縄や長縄に取り組むこととなります。子どもたちにはなわとびの検定カードを配布しています。レベル別になっているので、上の級を目指して、休み時間や授業で練習をしていきます。外は寒いですが、自分から身体を動かすきっかけにしてほしいです。12月13日（金）には長なわ記録会があります。クラスで最初の記録をとり、その記録を超えるために練習をします。目標に近づけるように、クラスごとに協力しながら取り組んでいきます。



お弁当期間の様子について

生活指導部 高山 由美子

長いと思っていたお弁当期間も気が付けば残すところあと1か月となりました。9月のお弁当開始当初は「何で給食ないの?」「給食が食べたい!」と言う子どもたちの声が聞こえてきました。しかし段々と子どもたちにも変化が見られるようになり、給食時間では「わぁ今日の卵焼き中に何か入ってる!」「わぁ今日は唐揚げだ!!」「今日の玉子屋さんはハンバーグなんだよ!」と各クラスで楽しそうな声が聞こえてきます。お天気の良い日は校庭でお弁当をひろげてピクニック気分でもとても嬉しそうに頬張る子どもたち。給食を提供していた頃とはまた違った景色が見られます。そんなお弁当期間もあとわずかです。

1月からは給食再開となりますが子どもたちが楽しい給食時間となるよう給食室一同力を合わせて給食づくりに取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



図工の授業で大切にしていること

図工 村岡 紘太郎

作品づくりには「表現したい」というきっかけや「楽しい」という気持ちが大切です。図工の授業で子どもたちが「先生、これでいいですか?」と作品を見せてくれることがあります。「先生にやれと言われたから」、「上手くできているか不安だから」という話をよく聞きます。そのため図工の授業では、きっかけや気持ちを引き出すために授業ではできるだけ、素材、表現方法、作品テーマに関して、好きなもの、興味のあることを選べるようにしています。また、子どもたちの不安を取り除き楽しく取り組めるようにするために、作品づくりの前に素材や表現方法を試し親しむ造形あそびの時間を設けること、作品に対して上手い下手ではなく、「工夫や本人らしさ」が出ているかで価値付けすること大切にしています。ただし、子どもの中には「上手く表現したい」という願いがあるように感じます。個性や良さを大切にしながら、思い通りに表現できるよう技能面も指導してまいります。